



なかよく手をつないでの登校（荒砥小学校）

3月定例議会

議会だより

しらたか

平成21年度
一般会計予算 **70億8,000万円を可決** …4p

- ・ 損害賠償の訴訟（置賜広域行政事務組合）……………3p
- ・ 平成20年度補正予算（反対討論）……………11p
- ・ 町への質問・提言（2議員が一般質問）……………12p～13p
- ・ 教育長の給与に関する条例を一部改正……………14p

Vol.102

2009. 4. 22

が求められる



栃尾地域(長岡市)との交流会（ぬくもりの館姫城）

共創のまちづくりによる 予算編成

● 定例議会は、3月5日から17日までの13日間の会期で開かれました。

● 本議会に提出された主な議案は、

① 平成21年度予算

一般会計70億8000万円

（一般会計、特別会計および企業会計総額

131億8216万円）

② 白鷹町スクールバス条例など条例7件

③ 20年度各会計補正予算などですが、

審議の結果原案のとおり可決しました。

● 一般質問は、2名の議員が当面する町の問題点や課題をたえました。

● 市町村合併検討特別委員会は、それぞれの市町が合併に慎重な姿勢をみせていることなどを考慮して、これまでの委員会の活動を報告し一応の区切りとしました。

継続性のある 行政執行

報告議会の動き

■福祉施設用地の取得

2月16日の鮎貝まちづくり事業調査特別委員会で、福祉施設用地（総合的な子育て支援拠点施設）の取得について説明を受けました。

議員から、債務負担行為の期限が20年度から25年度になる理由を問われ、「福祉用地の取得は、20年度にしなければならぬ行政行為で今までの説明と何も変わりませんが、統合保育園や子育て支援のありよう、受け皿の構築などを5年間で整理し町民に示します。」とのことで、建設の時期は明らかになりませんでした。

■損害賠償請求へ

平成8年、千代田クリーンセンターごみ焼却炉の入札は、株式会社タクマが落札しました。公正取引委員会は、談合が行われたとして勧告を行い、審判を開始し平成18年6月27日に談合が認められると審決しました。審決結果を不服として審決取消請求訴訟を起こしましたが、平成20年9月26日に棄却されました。

損害賠償については、平成12年2月の置賜広域行政事務組合（置広）議会でも質問がありましたが、置広では情報の収集、住民訴訟の提訴の状況確認をしていました。

2月10日付で、市民オンブズマン山形県会議から「損害賠償請求を行う予定があるか否か」の公開質問状が提出されました。

2月27日の理事会で、札幌市などの自治体の状況も踏まえ、損害賠償の訴訟を提起することになりました。

4月に株式会社タクマに対し、文書で民事の損害賠償請求を行う予定である。との行政報告を受けました。



3月定例議会日程

月 日	会 議
2月26日(木)	議会運営委員会
2月27日(金)	議会広報特別委員会
3月5日(木)	本会議 予算特別委員会 市町村合併検討特別委員会
3月6日(金)	議会運営委員会 本会議、一般質問
3月10日(火)	総務厚生常任委員会 総務厚生分科会
3月11日(水)	産建文教常任委員会 産建文教分科会
3月13日(金)	予算特別委員会
3月17日(火)	議会運営委員会 本会議 鮎貝まちづくり事業調査特別委員会 議会広報特別委員会



千代田クリーンセンター（高島町）

平成
21年度一般会計予算70億8000万円
(対前年比▲4.6%)

賛成多数で可決

平成21年度予算は、2分科会で審議のあと3月13日に予算特別委員会（議長を除く13名）で全11会計について審査を行いました。

平成21年度各会計当初予算

会 計 名		予 算 額
一 般 会 計		70億8,000万円
特別会計	十王財産区	38万円
	下水道	10億4,483万円
	国民健康保険	15億 193万円
	老人保健	4,254万円
	農業集落排水	1億2,224万円
	介護保険	13億5,891万円
	後期高齢者医療	1億4,532万円
企業会計	水 道	収益的支出 3億2,297万円
		資本的支出 2億2,695万円
	病 院	収益的支出 11億9,900万円
		資本的支出 1億 249万円
	訪問看護	収益的支出 3,460万円
総 額		131億8,216万円

※万円未満は端数を整理しています。

討 論

賛成

反対

反対討論 佐竹典明議員

内閣は景気の回復を前提に、3年後の消費税増税を打ち出しました。収入の少ない人にも課税になる弱い者いじめの消費税増税はやめるべきです。また、町の各施設使用料に、納税義務のない消費税加算は間違いです。

賛成しなかった鮎貝まちづくり事業の、文化交流センターは出来上がりました。しかし、組合施行の分譲住宅地の販売促進は進んでいないので、有効な手段でが

必要です。

タナカ種畜牧場の悪臭問題はまだ解決していません。汚水は流さない、悪臭は出さないという確約書や協定書の締結時の思いに立ち返って、町長は、解決に向けて直ちに着手すべきです。観光について、町長は盛りだくさんの事業を行うとしています。観光協会の職員の人件費が削減されています。今こそ優秀なスタッフが必要なことから再考を求めます。

 反対議員（2人）
 本木勝利議員
 佐竹典明議員

賛成討論 守谷丹吾議員

平成21年度の一般会計当初予算は国の生活対策に呼応する形で、町内の景気・雇用対策の重点施策や新規事業にも対応するとしています。

歳入面では、トータル的に減額になります。しかし年度末までの起債残高は84億8000万円ほどになる見通しで、行財政改革が進められていると評価します。当町は今年、町誕生55周

年を迎えます。他市町からも注目を集める文化交流センター「あゆむ」のオープンなどの事業が多々あります。様々な事業は、町民や町内の業者にとつて厳しい生活を乗り越えるため、少しでも早く執行すべきとして賛成討論とします。

 賛成議員（10人）
 菅 祐二議員
 岡田 明議員
 青木彰榮議員
 加藤秀人議員
 今野正明議員
 遠藤幸一議員
 守谷丹吾議員
 関千鶴子議員
 菅原隆男議員
 佐藤京一議員



佐藤誠七 町長

平成21年度 施政方針 (要旨抜粋)

平成21年度は本町にとって大きな転換の年です。世界的規模の社会経済変動が私たちの生活に直接影響する状況のなかで、町の将来の基本となる計画策定に町民の皆様の英知を結集して果敢に取り組む年と位置づけます。

本町の財政状況は、少しずつ改善の兆しが見え始めていますが、引き続き行政改革に取り組みながら簡素で効率的な行政システムを確立します。

歳出の重点化をはかるな

ど持続可能で健全な財政運営の確保に努める必要がありますと考えています。

「町民とともに創り上げる『共創』のまちづくり」をまちづくりの理念とし、「未来を担う人づくり」をベースとして「安心で住みよいまちづくり」、「活力あるまちづくり」を協働のまちづくりや地域づくり活動などと連動させながら着実に推進します。

本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力を傾注していきます。

さらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力を傾注

生活・景気・雇用対

総 額



春一番の作業

総括質疑

県教委に見直しを要望

佐竹典明 議員

佐竹 県教委による高校再編方針の一部を変更しなければ、荒砥高校への支援活動は水の泡になりかねないと思いますがいかがですか。

町長 支援活動は水の泡にならないと思います。県の教育振興計画の最終年度まで機会あるごとに見直しを要望していきます。

将来の白鷹町を担う子どもたち

五十嵐政司 議員

五十嵐 町長はどのような人づくりを目指すのか伺います。

町長 誇りと自信を身につけ、白鷹を愛せる子どもたちの育成に努めていきます。

消防の広域化は

五十嵐 置賜をひとつにする消防の広域化をどのように考えますか。

町長 広域化については担当者会議で議論を積み重ねるべきだと思います。また推進室を設置し広範な検討がなされ、何も問題はな

保育を担う受け皿は

守谷丹吾 議員

守谷 今後の保育を担う受け皿を具体的にどう進めていきますか。

町長 過去には、保育園の運営を社会福祉協議会に担ってもらった経緯があります。福祉サービスの一元化という点から、行政との連携も深めるため、町職員の同協議会への出向なども考えています。

協働のまちづくりをどう進めるか

佐藤京一 議員

佐藤 共創の理念に基づくまちづくりを目指すなか、町長が低調で定着せず課題があると言っている協働のまちづくりを、具体的にどのように進めていくのか伺います。

町長 町民の代表と職員による検証から9項目ほどの提言をいただいています。さらに庁内で検討しステップアップに取り組めます。

観光と農村交流は一体的

佐藤 交流人口の拡大に向けた産業連携は必然で、農村交流を観光と分離した形態では、今までのノウハウも実績も活かされないのではないですか。

町長 交流を観光という視点だけでなく、農村の地域特性を活かして再付加価値をつけた交流拡大に、観光協会と連携をとりながら取り組んでいきます。

これからの、歳入はようになる

歳 入
(町の収入)

質 疑



気軽に相談（町民課窓口）

交付税の減額

議員 交付税算定の経常経費分で単位費用などがだんだんに下げられ、交付税が減額されていると考えられますがどうですか。

当局 単位費用などの算式は国の指示によるものです。今回の算定でも普通交付税は減額となっています。

新型交付税の影響は

議員 人口や面積を測定単位とする新型交付税は、本町へどういう影響がありますか。

当局 町の地理・社会的な要因を意図的に交付税算定のなかに網羅することがあったとしても、個別の算定でプラス要因は見いだしにくいです。

今後の見通しは

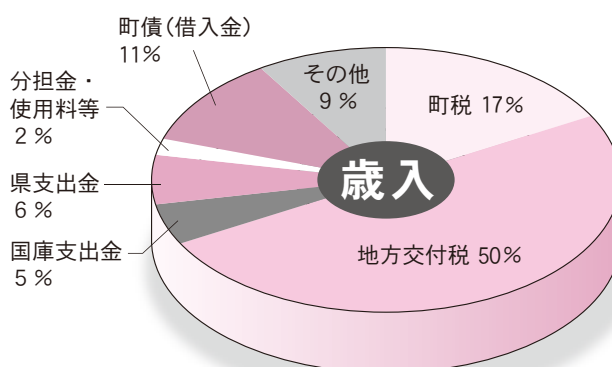
議員 新型交付税の導入は、過疎地域で人口減少が続く地方からは批判があります。今後の見通しを伺います。

当局 現在、国と地方をめぐる地方財政対策にかかわる大きな論点で地方制度審議会で議論されています。今後の状況は、普通交付税の算定が約10万人規模の自治体を基本としています。広域的なフレームでの算定比重が多くなると、本町の実情が反映された算定がたいへん厳しくなると思っています。

平成21年度一般会計収入予算額一覧

歳入(町の収入)	予 算 額
町 税	11億8,285万円
地 方 交 付 税	35億3,400万円
国 庫 支 出 金	3億4,273万円
県 支 出 金	3億9,722万円
分担金・使用料等	1億5,894万円
町 債(借入金)	8億 610万円
そ の 他	6億5,816万円
合 計	70億8,000万円

※万円未満は端数を整理しています。



歳 出

（町の支出）

質 疑



すこやかな成長を願って

総務費

町民から頼りになる職員像

議員 職員研修費の新規項目として、協働のまちづくり研修や公民交流セミナーなどがあります。

今後の町政運営にどのよう
に反映させていくのか伺
います。

当局 このままでは、住民
ときちつと向き合える職員
像というのが見えなくなる
ことを危惧します。

対人関係や組織のなかで

どういう協調性を持つて行
政課題に取り組むかなどの
研修を深めていきます。

職員に町の動きを研修と
いう形でとらえさせていき
たいと考えています。

議員 職員にしっかりと研
修を積んでもらい、町民か
ら頼りになる職員像をつく
りあげてもらいたいと思っ
ています。

当局 「協働」を基本理念に
すえながら、共創のまちづ
くりを進めて行きたいと
思っています。

「協働」とは何かをもつと
職員に理解をしてもらえ
るような研修をさせたいと思
います。

民生費

小学校の就学前までの医療費は無料

議員 扶助費の乳幼児医療、
乳幼児医療（子育て支援）、
児童医療（子育て支援）の
内容を伺います。

当局 乳幼児医療は現在3
歳までの無料化を、所得制
限なく小学校就学まで全て
無料とします。

小学生の通院医療費を現
行3割負担から1割負担に
軽減するものです。

町独自の施策

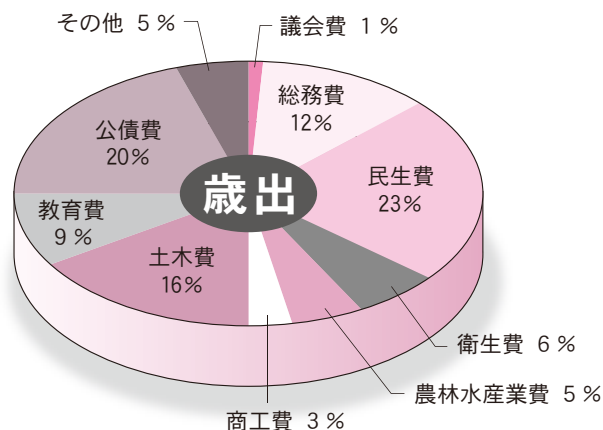
議員 町独自の施策として、
今回新たに打ち出した部分
はどこになりますか。

当局 4歳から小学校就学
前までの乳幼児医療費の無
料化と、小学生の通院負担
割合が3割から1割に軽減
されることです。

平成21年度一般会計支出予算額一覧

歳出(町の支出)	予 算 額
議 会 費	8,989万円
総 務 費	8億6,204万円
民 生 費	16億 331万円
衛 生 費	4億2,174万円
農 林 水 産 業 費	3億4,905万円
商 工 費	1億8,053万円
土 木 費	11億4,152万円
教 育 費	6億2,243万円
公 債 費	14億4,021万円
そ の 他	3億6,928万円
合 計	70億8,000万円

※万円未満は端数を整理しています。





EMボカシづくり

歳 出

（町の支出）

質 疑

衛 生 費

ゴミの減量対策は

減額の理由は

議員 美しい郷づくり推進会議は、どのような活動をしていますか。

当局 家庭での生ゴミなどには、EMボカシを使って良質な肥料に変えるなどの活動をしています。環境基本計画の見直しも含め、行政と町民が一体となりゴミ減量に努めています。

議員 各種検診事業の内容と委託料減額の理由を伺います。

当局 各種検診事業は、各町内ごとの健康診断です。減額については、21年度から受診者の自己負担分を直接支払うため減額になったものです。

農林水産業費

悪臭問題をどう解決する

議員 タナカ種畜牧場の悪臭は依然改善されていません。前町長は四者協定書を用いて事業者に守らせると言っていました。が町長の考え方を伺います。

当局 悪臭問題は、大きな課題ととらえています。四者協定書は法的拘束力はないが、お互いに協力し臭いを少なくするために結んだものと認識しています。まず協定書を守っていただく

ことと、信頼関係を持ちながら解決方法を見いだしていくべきと思っています。

地域が一体となって

生産性、労力などの課題があり、生産者だけでなく地域が一体となって事業に取り組めるよう推進していきます。

議員 農地・水・環境保全

対策事業は制約が多く、地域で取り組みにくい事業だと思いますが、いかがですか。
当局 環境保全型農業に取り組むもので、現在は鮎貝・蚕桑・東根地区で実施しています。



農地・水・環境保全対策事業

商工費

財団の経営指導は

議員 アルカディア財団の経営指導の内容と人選をどのように考えていますか。

当局 新公益法人制度の形態への移行部分に、今後の経営改善策の検討を含めて、専門的なコンサルタントの指導を受けながら進めていきます。具体的な人選については、許可者の県とも協議をしながら検討していきます。

観光協会への補助金減額は
議員 観光協会振興補助金は人件費の補助ですが、大幅な減額の理由を伺います。

当局 観光協会に委託している事業に、町職員の時間外などの人件費も相当あります。近隣市町における補助金の状況も踏まえて、トータル的に検討した結果です。

**まちづくり推進課事業の
今後は**

議員 最上川流域交流推進

事業や地域交流モデル事業は、まちづくり推進課での事業となっていました。が、今後はどのようなになりますか。

当局 高齢化が進む小規模集落のあり方や、町の景観をどうとらえていくかといった事業は、交流を主体

としたいろんな地域づくりを進めていくという観点から、産業振興課で取り組んでいきます。

プレミアム商品券は

議員 予定されているプレミアム商品券事業は、昨年12月に行った結果を受けて

どのように考えていますか。
当局 商業の活性化にはたいへん効果はあったものの、10万円分のまとめ買いが多

かったことから、もっと多くの人に参画して頂けるように一人の上限を5万円にすること、利用できる範囲を商工会商業サービス部会から建工部会まで広げることや利用期間を1ヶ月から3ヶ月にすることなどを考えています。

土木費

鮎貝まちづくり事業費の総額は

議員 鮎貝まちづくり事業地内の公園整備はどのようなものですか。また、県による道路整備も含めた総事業費はどれくらいになるのか伺います。

当局 四季の郷公園広場は、気軽に遊べる街区公園として整備計画をしています。宮の前交流広場は、産直などが可能な広場としても整備計画をしています。

総事業費は概算ですが、町分が27億5千万円、県事業が

荒砥浅立線の改修は

議員 町道荒砥浅立線の改修は600mとなっていますが、事業内容を伺います。

当局 改修が必要な部分については1800mととらえて

最上川フットパス

議員 最上川フットパスの管理先や、途中で国道まで迂回しなければならぬこと、ビューポイントに看板設置の要望があることへの対応を伺

8億2千万円です。それに土地区画整理組合の事業費が17億8千万円ありますので、重複している金額もありますが53億円を超える事業費となります。

おり3年間で完了する予定です。21年度は600mとしていますが、場所はこれから水溜りや損傷具合といった道路状況を検討して決定します。

います。
当局 管理は菖蒲と下山区の管理組合へ委託していますが、草刈機の燃料費程度の委託料でボランティアで行っているだいています。
荒砥川の所での迂回については、国土交通省に飛び石などの整備を要望しています。看板は要不要も含めて検討していきます。



最上川フットパス（つぶて石付近）



親切的な受付対応（白鷹町立病院）

歳 出

（町の支出）

教 育 費

スクールバス全町を網羅

新入生応援事業

議員 荒砥高等学校新入生応援事業は、緊急避難的な対応なのか伺います。

当局 この事業は、荒砥高等学校存続に向けて、町も一緒になり頑張っていることを示せたものと考えています。

来年度については検証をしながら対応していきます。

スクールバス事業

議員 スクールバスの運行が始まりますが、町として特に留意していることは何ですか。

当局 安全で安心して通学できる環境を整備して、しつかり運行していくことです。また、秋には全町を網羅できる体制作りを進めていきます。

文化交流センターの管理運営は

議員 文化交流センターは、まちづくり推進課が担当していました。新年度から教育委員会に移管されるわけですが、どう進めていきますか。

当局 管理運営基本計画が既に作成されています。年度内に引き継ぎをしながら進めていきます。



待望されたスクールバス

質 疑

特別会計・企業会計

町立病院は今まで通りの診療

後期高齢者医療制度は

議員 この制度は、扶養家族に保険料が生じるなど、問題があり到底納得しがたいものですがどうですか。

当局 賦課ミスなどの問題があり、国も見直しを重ねてきました。

現在の状況としては新聞紙上に載っている通り「軌道に乗りつつある」と思っています。

医師確保は十分か

議員 これからの病院経営を大きく左右することとして、医師確保という課題があります。現在の状況はどうですか。

当局 当病院の21年度体制は、現在の先生方がそのまま勤務していただけるので、今まで通りの診療ができるものと思っています。

水道管の交換

議員 上水道の老朽管工事計画について、順調に進んでいるのか伺います。

当局 老朽管の交換は、黒鴨の山林で導水管を引いている部分を除いてほぼ完了しています。

一般会計

道路・農地維持費などに

4億3,123万円を追加補正

総額82億4,142万円となる

3月5日に提出された一般会計補正予算は、反対討論の後、採決の結果、賛成多数で可決されました。
3月17日に提出された一般会計の補正予算は、内容の一部に修正する必要が生じたことを理由に当局が撤回しました。
同日の本会議で、あらためて提出された一般会計の補正予算は、採決の結果、全会一致で可決されました。

補正予算の主なもの

・減債基金積立	5,000万円
・財政調整基金積立	6,000万円
・病院経営基盤強化費	4,000万円
・温泉の源泉管理対策補助金	6,770万円
・定額給付金	2億5,410万円
・子育て応援特別手当	8,060万円
・勤労者総合福祉センター修繕工事	4,500万円
・学校施設改修整備工事	2,842万円
・消防施設整備およびAED購入	1,919万円
・道路及び農地の維持工事に などです。	5,046万円

●財源は国・県支出金、地方交付税などで対応します。
○主な歳入の内訳

定額給付金補助金…2億6,367万円、子育て応援手当交付金…7,340万円、地域活性化・生活対策臨時交付金…1億8,275万円、普通交付税…3,260万円などです。

反対討論（3月5日）

債務負担行為補正の福祉用地取得事業は、平成20年度から25年度で9,088万5,000円の債務負担をするものです。
鮎貝区画整理地内の保留

地1.85haを取得し、こぐわ・あゆかい統合保育園を平成23年度に建設するとしていました。
町長は、統合保育園の建設時期を明らかにせず、用地の別途使用に言及したこともあります。購入手法は

土地開発公社に依頼し、事業実施時に買い戻すとしています。
事業実施が遅れば、塩漬の土地になりかねません。

平成20年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	4億3,123万円	82億4,142万円
特別会計		
下水	△1,837万円	11億2,258万円
国民健康保険	△365万円	15億1,986万円
農業集落排水	△158万円	8,198万円
介護保険	△4,221万円	13億8,411万円
後期高齢者医療	855万円	1億6,884万円

質疑

■基金の積み増し

【議員】 国の緊急経済対策による財源措置によって浮いた一般財源で、基金の積み増しを行った理由を伺います。

【当局】 次年度以降の債務負担による経済対策や、新年度予算における財政出動も視野に入れる必要があると考えたからです。

■アルカディア財団に追加補助金

【議員】 原油の高騰によりアルカディア財団への源泉管理の補助金が2年続いたわけですが、新年度からの契約で、単価が下がったときの対応はどうなりますか。

【当局】 委託料は毎年の協定のなかで状況を見ながら対応したいと考えています。このことは指定管理者制度では財政上本来の形ではなく、想定にないものと思われまますので、対応についてはきちんとした考え方を持って進めていきます。

2月16日の臨時議会における一般会計補正予算補正の主なもの

・妊婦健康診査事業	55万円
・定額給付金事業委託料	3,010万円
・中小企業緊急雇用維持支援事業	4,000万円
・学校や公民館、町民保養センターなどの 地デジ対応テレビの購入	793万円
・施設整備工事および修繕費 などです。	1,322万円

●財源は、地方交付税、繰越金などで対応します。

佐竹典明 議員



佐竹 介護保険制度、見直しでどうなる

町長 10年間の課題や実態を反映したもの

■介護報酬3%引上げて
どう変わる

佐竹 介護報酬は過去2回の連続引き下げがあり、介護施設や職員の手当てに回せるようにと、初めて3%引き上げられました。このことがどのように反映されるか伺います。

■減免条項を活かして
佐竹 保険料基準額の月額150円の引き下げや保険料所得段階を9段階へ広げたことは評価しますが、基準額以下の人の保険料負担は重荷となっています。

町長としての減免条項を活かして、保険料を軽減してはいかがですか。

町長 減免措置は世帯の収入資産などによって判定し、保険料額の100分の50を乗じたものを減ずるとしています。持続可能なものとするために相互扶助の制度として応分の負担をお願いするものです。

健康福祉課長 介護従事者の人材確保、処遇改善の視点で、介護従事者の専門性や有資格者の多い事業所を評価して報酬も改善されます。また、認知症への対応もきちっとできることが評価の対象となります。

■高負担により入所できないことへの解決策は
佐竹 特別養護老人施設の白光園は待機者が100人以上であり何年もまたなけ

ればならないし、他の老人保健施設は月に10万円〜15万円の費用がかかり年金では払いきれません。この状況をどのように考えていますか。



長寿の方にも喜ばれるサービス

■調査項目の変更に
よって

佐竹 要介護度を判定する調査項目と認定基準が4月から変更されることによって、命にかかわることや、認知症の人の行動などが軽く判断されてしまい、実態をさらに反映しなくなってしまうのではないかと思います。いかがですか。

健康福祉課長 調査項目が82から74になったのは、約10年の間で要介護高齢者像が確立された結果です。減少した項目は主治医の意見などに反映されているものであり、新たな項目も高齢者支援の配慮がなされているものと考えています。

町長 白光園のような介護

施設には、要介護度が4から5の人に重点的に入所してもらっています。他の施設利用には、世帯や本人の所得状況によって、食費や居住費などの負担軽減をはかっています。

本木勝利議員



本木 最上川世界遺産登録に町長としてアクションを起こせ

町長 状況を踏まえ、機会がきたら積極的に行う

■郵政民営化反対

本木 郵政民営化によって郵便局は、集配業務がなくなり窓口は数人しかいません。今後、民営化が進むと町内の郵便局は廃止が多くなるのではないかと不安に思います。

町長として民営化反対という立場で、発言をすべきだと思いますがどうですか。

町長 民営化の背景には、日本郵政公社が保有している資金を民間に使っていくという大きな流れがあります。かんぽの宿などは、課題がありますが、現時点で郵政民営化に対し、反対と叫ぶような状況ではないと思っています。

■欠席の理由

本木 1月20日に置賜広域行政事務組合全員協議会がありました。この会議は余熱利用施設の負担割合変更に関する大事な会議でした。町長が欠席した理由はなんですか。

町長 農政が非常に混沌としていながら、耕畜連携さらには遊休農地の活用に関し、当町としてどうしても協力を得なければならぬ団体の会合があり欠席しました。

■太いパイプ

本木 今度の吉村県政に対しての、信頼関係は、盤石で太いパイプでいけるといふ確信がありますか。

町長 吉村知事は「対話を重視して県政を進めていきたい。」と話しています。私も、町民の幸せにつながるように知事と対話を重ねながら、信頼関係を構築できるように努力していきます。

■アクションを起こせ

本木 吉村知事は、最上川世界遺産登録の見直し発言をしました。当議会は特別決議をして県政を応援した経緯があり、県議会に任せっきりではなく、知事に対してアクションを起こすべきだと思いますがどうですか。

町長 現在、県議会の中で議論されています。状況を踏まえながら、当町の思いを話す必要が来たならば、積極的に行いたいと思います。

■おおせ博覧会

本木 3月21日にパワーセンターで、おおせ博覧会が開催されます。知事に出席を願い、地域の取り組みを肌で感じてもらうってはどうかと思います。町長として招待してはどうですか。

町長 「美しい山形最上川フォーラム」の主催で開催されますが、出席されるかどうかは別として、案内を差し上げることはできます。



地域を再発見（パワーセンター）

条例

新しくなること



待たれる「あゆむ」のオープン

■白鷹町文化交流センター設置および管理に関する条例
開館時間、休館日、使用料、損傷または滅失に対する損害賠償、ギャラリーの観覧料などが条例で定められます。

反対討論

県は女性センター建設を一方的に軌道修正し、女性センターは雲散霧消してしまい、前町長は町が全責任を負うという事業を起こしました。この判断に町民の多くは支持をせず、これは選挙結果にあらわれました。以上の点から反対します。

■白鷹町スクールバス
4月1日より児童生徒の通学手段として3路線でスクールバスが運行されます。萩野中山線は児童だけ。荒砥大瀬線、荒砥中山線は一般住民が利用できる混乗型。一般住民乗車1回200円、小学生は通学以外に利用する場合100円です。

■白鷹町介護従事者処遇改善臨時特例基金
介護保険料の上昇を抑制するため「介護従事者処遇改善臨時特例交付金」が交付され、これを基金として制定します。

条例の一部を改正する条例

○白鷹町課設置条例
まちづくり推進課が廃止されます。総務政策課が総務課に変更、町民税務課が税務出納課と町民課の2課になります。

○白鷹町医療給付事業に関する条例
65歳から74歳までの1級、2級の特別障がい者の方は現在加入している医療保険のままで医療給付が受けられます。

○白鷹町介護保険条例
介護保険第1号被保険者の保険料は7段階から9段階となり、月額基準額は3700円から3550円に減額されます。

○白鷹町教育長の給与・旅費及び勤務条件等に関する条例
教育長の給与を月額に100分の35を乗じた額を控除した額とします。

町は8ヶ所の管理を指定管理者に委託します

施設の名 称	指定管理者の名称
白鷹町総合情報センター	白鷹町アルカディア財団
白鷹町テレワークセンター	白鷹町アルカディア財団
白鷹町ふるさと森林公園	白鷹町アルカディア財団
白鷹町森林総合利用施設	白鷹町アルカディア財団
白鷹町自然活用総合管理施設	白鷹町アルカディア財団
白鷹町勤労者総合福祉センター	白鷹町アルカディア財団
ふるさと森林公園スカイサイクル	白鷹町アルカディア財団
白鷹町深山和紙振興研究センター	深山区

用地の取得

鮎貝まちづくり事業として必要な福祉用地を先行取得します。

○土地の表示

白鷹町鮎貝土地区画整理組合保留地

○面積 5900㎡

○取得予定価格

9088万5000円

○契約の相手先

白鷹町土地開発公社

理事長 後藤 吉蔵

請 願

採択された請願

- 国に対する労働者派遣法の
抜本改正を求める意見書提出方請願

請願者
置賜地域労働組合総連合
議長 渡辺 豊

意見書提出

議員発議により、1件の意見書を関係大臣に提出することになりました。

- 度重なる規制緩和の結果、派遣労働者が急増している。

派遣労働者の権利を守り、労働実態を改善するために製造業も含め、派遣労働を原則禁止とした抜本的な法改正を求める。

人 事

井澤徳雄教育委員と竹田寛治教育委員の辞職に伴い、空席となっていた教育委員に下記の方々が全会一致で同意されました。

なお、3月6日開催された教育委員会において、丸川恵子氏が教育委員長に選任されました。



丸川 恵子 氏



岡田 勉 氏



町内の元気な中小企業

表 彰

おめでとうございます。

- ◎山形県町村議会
広報コンクール表彰
入選「議会だよりしらたか」



- ◎自治功労表彰
山形県町村議会議長会表彰
議員在職11年以上



青木 彰榮 議員



加藤 秀人 議員

お詫びと訂正
前号4ページの「採択の結果」は「採決の結果」の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

追跡レポート

—あの質問のゆくえ—

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



いざという時の備え（貝生地区）

大規模災害発生時の課題は

16年10月に発生した新潟中越地震では多くのボランティアが救援活動に参加しました。もし、白鷹町に大規模災害が発生した場合の最重要課題は何かお聞きします。

平成16年12月議会

町長答弁

自主防災意識を高めることが大事

何よりも人命最優先です。家族、隣近所、町内の安否の確認には自主防災意識を高めることが大事です。また、情報伝達体制を整えることが迅速な対応をはかる上で極めて重要です。

どうなった

自主防災組織の組織率は67.6%

大規模災害が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、地域の防災力を高めることが重要であり、その要となるのが自主防災組織です。当町の自主防災組織の組織率は、平成17年3月末で7.3%でしたが、平成21年2月末現在で67.6%となっています。

また、避難所看板の設置、緊急連絡体制の整備、洪水・土砂災害避難地図の作成などを行い防災体制の充実をはかってきたところです。

議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局（85-6135）へお問い合わせください。

次の定例議会は **6月** です

● 議会中継もご覧下さい

お手持ちのパソコンでご覧いただけます
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.town.shirataka.yamagata.jp/gikai/>



発行責任者・議長	船山 仁
広報委員	
委員長	青木 彰 榮
副委員長・編集長	関 千鶴子
委員	守谷 丹吾
委員	菅原 隆男
委員	佐藤 京一
印刷・長谷川印刷	

春眠晩を覚えず。桜前線が北上し春暖の好季節となりましたが、世界同時不況の出口はなお闇の中です。荒砥高等学校の新入生が定員の3分の2を割らなかったことは、入学者の確保に向けた支援策を町が実施したこともあり、春一番の朗報でした。

町誕生55周年を記念して二年ぶりに開催される日本女子ソフトボール一部リーグに、上野由岐子投手が来町することは、町内外から注目を集めています。

芸術の秋、10月には文化交流センター「あゆむ」がグランドオープンします。「人づくり」に投資することは、どのような時代でも最優先させなければならぬことだと思えます。

各分野で活躍されている一流の方達との出会いが、子ども達に夢や希望を与える一助になることを期待するものです。

(関)

編集後記

